

2023年度 ラブ基金報告

当連盟では、スポーツを通じた社会活動の一環として1991年より「国連難民救援募金」を、1993年より「ALT基金」募金を行ってきました。2013年よりこの両者を統合した「ラブ基金」による募金活動を行っています。2023年度の募金総額は、2,379,835円でした。募金をお寄せ頂いた皆様のご理解とお気持ちに厚く御礼申し上げます。なお、以下にご紹介する寄贈先のほかJLTF秋田県支部へも災害お見舞い金をお贈りしました。

ラブ基金の寄贈先



国連UNHCR協会

日本人女性初の国連公使として難民支援に奔走し、第8代国連難民高等弁務官を務めた、故緒方貞子氏（JLTF名誉会員）



2022年よりウクライナ支援も行っている



テニスミュージアムに関する寄付 (旧宮城黎子記念・JTAテニスミュージアム基金)



左／日本にテニス博物館を作りたいという宮城黎子さんの遺志を継ぎ、有明テニスの森公園にオープンした「有明テニスミュージアム」

下左／宮城黎子さん使用のラケット等展示品

下右／宮城黎子さん往年のプレー姿



日本ろう者テニス協会 (世界デフテニス選手権選手団に激励金)



「世界デフテニスチーム選手権大会2023」で初優勝した日本女子チームの皆さん（ギリシャ、クレタ島にて）



日本ブラインドテニス連盟



関東ブラインドテニス大会の様子（茨城県にて）



日本車いすテニス協会 テニス競技用車いす 10台寄贈



テニス競技用車いす寄贈のあゆみ

日本女子テニス連盟では1998年より5年毎（2008年まではALT基金より）に、日本車いすテニス協会に「テニス競技用車いす」を寄贈してきました。

その数は、今年度の10台を含めて合計61台に上り、これらのテニス車は同協会
で、講習会やリース車として活用されています。



車いすテニス講習会の様子



寄贈実績	
1998年	8台
2003年	10台
2008年	14台
2013年	10台
2018年	9台
2023年	10台
合計	61台

寄贈されたテニス車を利用する子供たちからは「自分に合った車いすが来ると聞いてとっても嬉しかった」「やってみるととても乗りやすかった」「テニスの練習がもっと楽しくなった」などの喜びの声が寄せられています。

TOPIC テニス車と出会って、毎日が楽しくなった女の子のお話



テニス車が届いて喜ぶ麗ちゃん

脊髄脊膜瘤を抱えて生まれた麗ちゃんは今年5歳。3歳半の時、お姉ちゃんが参加する車いすテニスの体験講習会と一緒に訪れると、協会の方から「小さなジュニア用テニス車があるので乗ってみませんか？」と声をかけられました。最初は泣き出しそうだった麗ちゃんですが、テニス車に慣れるにつれ少しずつ笑顔が出てきました。

そしてこれまでどこへ行くにもベビーカーだった麗ちゃんが、自分で車いすを漕ぎ、ラケットで風船遊びを始めたのです！

ご両親からはまもなく「リース車をお願いしたい」との連絡が協会に入り、その年のクリスマスに麗ちゃんの元に小さなテニス車が届けられました。

「麗が、体験会でいきいきと動き回る姿に感動しました。今では家の中でもテニス車に乗り、姉と共にテニスを楽しんでいます」とご両親。

車いすとの出会いによって、たくさんの子供たちが人生をより楽しく、パワフルに生きられますよう応援しています。



お姉ちゃんと
テニスを楽しむ麗ちゃん